

Kumamoto Children's Book Forest

ここからアジア、世界へ「こども本の森 熊本」が完成



安藤忠雄氏(東京大学名誉教授、安藤忠雄建築研究所)設計の「こども本の森 熊本」が完成し、4月7日に記念式典が行われた。安藤氏は、「ここは豊かな水と緑があり、ホタルも生息する素晴らしい場所。本の森を利用する子どもたちには、くまモンのように、熊本からアジアへ、そして世界へ羽ばたき活躍してほしい。そうした子どもたちの創造力を育てるために、少しでもサポートしたい。」と述べた。



安藤 忠雄氏

建築家にもっと社会的な責任と役割を

「こども本の森 熊本」は、「中之島」(2020年)、「遠野」(2021年)、「神戸」(2022年)に次いで4番目となる。いずれも県や市が準備する土地に寄贈という形で安藤氏が建物をつくる。また蔵書の準備から運営費まで、安藤氏個人が負担する。安藤氏は「個人でできる範囲でつくり、社会に還元する。という心が、世界をみてこそついた建築家ではない。安藤氏が影響を受けたル・コルビュジエや

自然環境にとけ込む図書館



宮村 和寿氏

今回の安藤忠雄建築研究所の担当は、宮村和寿氏である。『こども本の森 熊本』は、水前寺江津湖公園にある。人口70万人を超える大都市で、これだけの湖が市街地にあるのは珍しい。貴重な水生生物や野鳥を見ることができ、オアシス、市民の憩いの場でもある。

この特徴は内部空間にもあめ三次元で考えなければなりません。導き出した手法、施工図データを基に現場で測定しながら慎重に作業を進めました。軒樋、間接照明のH鋼は型枠として設置し、コンクリート打設を行っています。

「また壁が傾いていますが、コンクリートを流す速度も異なります。コンクリート打設量も少しずつポンプ車一台で打つのですが、そうすると時間がかかります。コンクリートの入り具合にも問題があります。現場は狭いところでしたが、ポンプ車二台で時間管理を行いながら打設しました。そうしただけ設計しただけに型枠を外す時は、どきどきでした。」

「天井の格子組は四層構造です。上が75mm角。下が30mm X 60mmの三層格子組。しかも全体がだぶだぶになっています。この大天井をどう組むか。モックアップをつくり、職人何人も検討を重ね、この大天井を組み上げることにできました。」

くまモンのように熊本からアジア、世界へ

「中之島」「遠野」「神戸」について、安藤氏が寄付

熊本県産ヒノキの格子天井と全面書架の壁で囲われた二層吹き抜け、ワンルームの大空間。南面の壁は傾いており、天井に近くにつれ空間が広がっている。

「こども本の森 熊本」は、子どもが自由に読める場所をつくることです。建物内のどの場所でも本を読んでもいいし、外に本を持って行って読んでも構いません。公園を含めた敷地全体が「図書室」のイメージです。1階のテラスでは公園の木の下にいて、自然のなかで本を読むことができますし、1階では西側のポーチから実際に外に出る公園のベンチで本を読むこともできます。内外に開かれた、子どもたちがそれぞれお気に入りの場所を見つけてゆったりと読書の時間を楽しんでほしいと思っています。」

「内部は全面書架の壁で囲われた二層吹き抜け、ワンルームの大空間です。その中に、中央の大階段を核として、楕円と円形の小さな部屋、スロープ、書架を配置し、変化に富んだ空間をつくりました。入り口から西側の公園を望む2階のテラスに至るまで、抑揚のある体験ができるよう心がけました。」

「この建物は県立図書館本館と一体的に運営されますが、子どものための図書館なので本館とは少し違う使い方にしています。そのため、本館とは別棟にして、子どもたちが自然の美しさも感じてもらう場所に配置しました。」

「建物には本館の南側から半屋外の渡り廊下を通じてアプロなしします。建物はシンプルな線形の形をしていますが、おおらかな公園の風景に呼応するよう、全体が緩やかにカーブしています。」



中元 王治 建吉組 社長

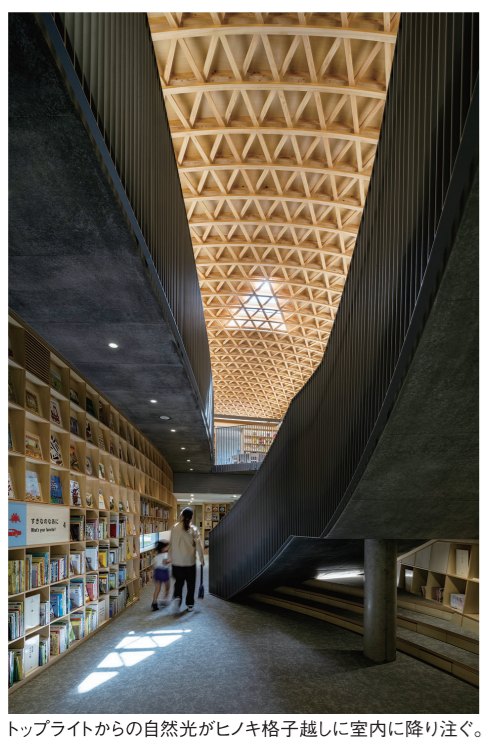
いくつも難工事を克服、見事な出来栄

安藤氏が、「地元の建設会社を、隅々まで愛情を注いで、いよいよ仕上げに『これだ』というのが、県内有数のゼネコンの建吉組である。現場所長を務めた中元王治所長は、「安藤先生の施工精度の高さや厳しさは聞いていました。取りかかる前に『中之島』や『神戸』を何度も見ていき、それに負けない精度でつくりたいという思いを強くもちました。厳しいところは、ミリ単位の納まりが随所にあります。」

「例えば、傾いたRC打ち放し壁がこの建物の特徴です。傾き計法は図面に記載されていますが、外壁がカーブしているため三次元で考えなければなりません。導き出した手法、施工図データを基に現場で測定しながら慎重に作業を進めました。軒樋、間接照明のH鋼は型枠として設置し、コンクリート打設を行っています。」

「また壁が傾いていますが、コンクリートを流す速度も異なります。コンクリート打設量も少しずつポンプ車一台で打つのですが、そうすると時間がかかります。コンクリートの入り具合にも問題があります。現場は狭いところでしたが、ポンプ車二台で時間管理を行いながら打設しました。そうしただけ設計しただけに型枠を外す時は、どきどきでした。」

「天井の格子組は四層構造です。上が75mm角。下が30mm X 60mmの三層格子組。しかも全体がだぶだぶになっています。この大天井をどう組むか。モックアップをつくり、職人何人も検討を重ね、この大天井を組み上げることにできました。」



トップライトからの自然光がヒノキ格子越しに室内に降り注ぐ。

- 建築概要
■建物名 こども本の森 熊本 (Kumamoto Children's Book Forest)
■所在地 熊本市中央区出水2-5-1
■主要用途 図書館
■設計・監理 安藤忠雄建築研究所、アスコル構造研究所
■設計・監理協力 前原設計事務所
■施工 建吉組
■敷地面積 14,051.64㎡
■建築面積 270.45㎡
■延床面積 463.33㎡
■構造・規模 RC造、一部W造、地上2階
■設計期間 2022年9月~2023年6月
■施工期間 2023年6月~2024年3月



デザイン:CIDplus 撮影(建物):小川重雄



子どもにあわせて家具や窓の高さが決められている。窓からは水前寺公園の豊かな緑が見える。

「本本の森にはくまモンの部屋があるが、くまモンは世界的なキャラクターになりインパクトがある。同じように子どもたちも、この熊本からアジアへ、世界で活躍するための大きな力を身につけてもらいたいです。そして地球のために頑張ってもらいたい。」

「世界は、いまいろいろなところで危機的状況にあるが、そのなかで建築という職業を通して責任をもって、少しでも社会をよくしたい。できれば他の職業の人びととも、それぞれの領域のなかで積極的に社会参加していければいい。子どもは世界の中にあって、積極的な社会参加を促さなければならない。私たちが、2度の大病にもかかわらず、いつの日かこうして立ち上がることになる。話した。不死身の超人的な建築家の挑戦は、終わるところがない。」

「こども本の森」はその後の山や札幌で計画が進んでいるが、今回新たに鹿児島でも計画と述べた。

オープニングセレモニーあとの記念講演は「青春を生きる」。中学生が多く見られた。2度の大病にもかかわらず、いつの日かこうして立ち上がることに話した。不死身の超人的な建築家の挑戦は、終わるところがない。」

設計・監理 安藤忠雄建築研究所

- とび・土工事 有限会社 上村組
■熊本市東区戸島6-13-1
■株式会社 ナカムラ 熊本支店
■肥後生コンサーbis株式会社
■誠産業株式会社
■株式会社 インテリアナカガワ
- 型枠工事 有限会社 坊野建設
■株式会社 建鋼社
■熊本味噌生コンクリート株式会社
■株式会社 河北本店
■旭電業株式会社
- 鉄筋工事 小野建株式会社 熊本支店
■株式会社 ナスク
■三基型枠工業株式会社
■鹿島島工場
■株式会社 清永宇蔵商店
■株式会社 内田クレーン工業
- 電気工事 中村鉄筋工業
■飯塚電機工業株式会社
■株式会社 アイアンジョイント
■株式会社 上慶
■株式会社 あんしんCo.,Ltd.
- 木工事(木構) 山佐木材株式会社
■株式会社 緑研
■東邦設備株式会社
■株式会社 静岡塗装組
■有限会社 ワタナベ施工
- 屋根工事 有限会社 花谷工業
■出田実業株式会社
■越智産業株式会社 新建築業所
■有限会社 芥川商会
■株式会社 前田産業

施工 株式会社 建吉組

熊本市中央区坪井6-38-15 電話 096-343-1111

- とび・土工事 有限会社 上村組
■熊本市東区戸島6-13-1
■株式会社 ナカムラ 熊本支店
■肥後生コンサーbis株式会社
■誠産業株式会社
■株式会社 インテリアナカガワ
- 型枠工事 有限会社 坊野建設
■株式会社 建鋼社
■熊本味噌生コンクリート株式会社
■株式会社 河北本店
■旭電業株式会社
- 鉄筋工事 小野建株式会社 熊本支店
■株式会社 ナスク
■三基型枠工業株式会社
■鹿島島工場
■株式会社 清永宇蔵商店
■株式会社 内田クレーン工業
- 電気工事 中村鉄筋工業
■飯塚電機工業株式会社
■株式会社 アイアンジョイント
■株式会社 上慶
■株式会社 あんしんCo.,Ltd.
- 木工事(木構) 山佐木材株式会社
■株式会社 緑研
■東邦設備株式会社
■株式会社 静岡塗装組
■有限会社 ワタナベ施工
- 屋根工事 有限会社 花谷工業
■出田実業株式会社
■越智産業株式会社 新建築業所
■有限会社 芥川商会
■株式会社 前田産業